

京都

10月11日(金)

10:30 - 17:00

龍谷大学響都ホール(京都駅前)

入場無料

言語: 英語(同時通訳あり(予定))

連絡先: 龍谷大学政策学部教授 服部圭郎

(hattori@policy.ryukoku.ac.jp)

名古屋

10月12日(土)

13:00 - 18:00

名城大学なごやドーム前キャンパス

入場無料

言語: 英語(同時通訳あり)

連絡先: 名城大学都市情報学部教授 海道清信

(kaidou@meijo-u.ac.jp)

Shrinking Cities Revisited

New patterns of uneven population development, multifaceted local implications, and the challenges of multi-level

シュリンクングシティ再考

人口変化の新パターン・地域での多面性と多層のガバナンス

本セミナーのテーマは「シュリンクングシティ再考ー人口変化の新パターン・地域での多面性と多層のガバナンス」。具体的には次の3つの点、1)人口変化(減少と増加を含む)の地域的な不均一性とその変化のパターンの議論、2)人口減少の地域的特徴の理解、3)行政・民間・市民など多様なレベルでのシュリンクングシティに関わる課題に対応するガバナンスの事例と方向性の議論。人口減少が地域的にも時間的にも一直線で類似的ではないことが明確になりつつある中で、さまざまな地域での多様な状況を明らかにする。セミナーは12名の気鋭のドイツ人研究者と日本人研究者による、これまでの研究成果の蓄積を発表する場となり、日本における縮小自治体や縮小都市・地域研究者に多くの示唆と刺激を与えることが期待される。

申し込み



このQRコードで申し込みをお願いします。



日独国際セミナー2019

からも申し込みできます

もしくは、服部まで (hattori@policy.ryukoku.ac.jp)

主催: シュリンクングシティ研究会(代表: 海道清信・名城大学、副代表: 服部圭郎・龍谷大学)

後援: (公社)日本都市計画学会、(公社)都市住宅学会、(一社)法人日本計画行政学会、(一社)

日本建築学会東海支部、都市環境デザイン会議、立命館大学地域情報研究所、京都市

龍谷大学地域公共人材・政策開発センター、名城大学、龍谷大学

DFG Deutsche Forschungsgemeinschaft

